

# 花巻観光協会を母体としたDMO

令和2年10月16日 観光地域づくり法人(登録DMO)に登録

## 観光地域づくり法人(DMO)の形成・確立



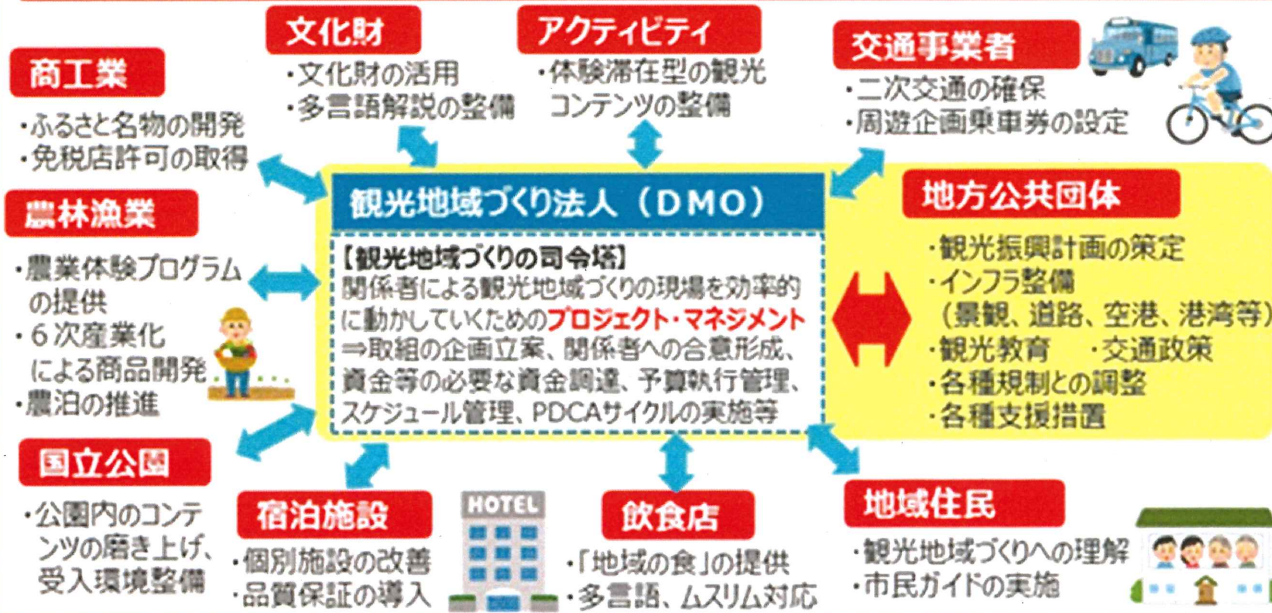
### 観光地域づくり法人 (DMO)

地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人

DMO : **D**estination **M**anagement/**M**arketing **O**rganization

### 地域の関係者を巻き込んだ体制の構築

観光地域づくり法人(DMO)を中心とし、地域の関係者が主体的に参画した体制を構築



ターゲティング等の戦略策定

観光コンテンツの造成

受入環境の整備

地方誘客・旅行消費拡大

抜粋

# 花巻観光振興ビジョン

2020年3月 策定  
2025年10月 改訂

一般社団法人花巻観光協会

## 第4章 基本方針

### 1. コンセプト

#### 花巻12湯 ～湯ったり、感じる「花巻じかん」～

##### (考え方)

- 花巻の強みとは、宮沢賢治が「イーハトーブ」と表現した理想郷をイメージさせる、遠くに岩手山が見え、目の前に田んぼが広がるといった雄大で、かつ人の生活の営みを感じられるほっとする空間です。そして、この空間の中に、「1温泉1源泉」の12温泉で構成される花巻温泉郷が存在します。
- これまで、花巻温泉郷は「花巻にある温泉の集合体」という捉え方で、それぞれの宿の個性や特徴を伝えきれていませんでした。特に、個人型の旅行においては、その時々によって行き先や目的が変化していくことが想定されます。このため、それぞれに源泉を有する温泉の価値を見直し特徴を明確化するとともに、多様な温泉で構成されていることを強くアピールすることが重要となります。
- さらに、今後は「見る観光」から、「体験などを通じて心から感じる観光」へと移行していくことが想定されます。こうした背景を踏まえて、花巻で暮らしてきた人々が培ってきた理想郷といえる空間で、人々と触れ合いながら時間に追われずにゆったりとした流れの中で過ごすという、時間・空間の両面でくつろぐことなどを意味する「花巻じかん」を、より多くの来訪者が体感できるよう、取り組んでいきます。
- 花巻の観光まちづくりでは、温泉を軸に、花巻での体験を通じた来訪者と「花巻じかん」を共有することで、花巻での滞在時間を楽しむ(延長する)ほか、「また花巻に行こう!」と思ってもらえるリピーターを増やしていくことを目指します。

## 2. 目標値

○本ビジョンにおいては、以下の指標について目標値を設定します。なお、目標値はビジョンの見直し時の状況により、必要に応じて修正するものとします。

指標	基準値	2024年 前期 (2020~23年) 終了後	2023年度 実績	2027年 中期 (2024~26年) 終了後	2030年 後期 (2027~39年) 終了後
旅行消費単価 (円/人)	29,200	33,400	28,294	35,200	37,000
外国人旅行者	47,800	55,500	48,716	58,800	62,100
延べ宿泊者数 (人)	797,450	843,500	752,867	863,000	886,400
外国人旅行者	49,886	96,000	70,045	115,500	138,900
来訪者満足度 (%)	95.1	96.0	97.8	96.0	96.0
外国人旅行者	98.9	99.0	100	99.0	99.0
リピーター率 (%)	60.0	66.0	60.0	69.0	70.0
外国人旅行者	—	—	—	—	—

※「旅行消費単価」と「リピーター率」の基準値は、「日本版DMO形成・確立計画」(観光庁提出)に記載の数値。「延べ宿泊者数」と「来訪者満足度」の基準値は、花巻市からのヒアリングを基に設定した。

また、目標値については、花巻市からのヒアリングのほか、岩手県の目標値設定の考え方(「みちのく岩手観光立県第3期基本計画」(平成31年3月策定))を参考に設定した。

### <旅行消費単価>

- ・毎年600円ずつ伸ばすこととして設定。
- ・外国人旅行者は、毎年1,100円ずつ伸ばすこととして設定。

### <延べ宿泊者数>

- ・日本人旅行者は2018年実績(747,564人)の維持を目指す。この数値に、下記により算定した外国人旅行者の目標値と合算により設定。
- ・外国人旅行者は、2020年までを年平均22.7%ずつ、2020年以降は年平均6.4%ずつ伸ばすこととして設定。

### <来訪者満足度>

- ・現状を上回る目標値として、市の目標値と合わせ96%を設定。
- ・外国人旅行者についても、過去の実績を上回る99%を設定。

### <リピーター率>

- ・毎年1%ずつ伸ばし、70%以上を維持。
- ・外国人旅行者は、今後現状を把握した上で設定。

○4つの基本戦略を実現するためのプロジェクトを以下のように設定します。

※後期の重点プロジェクトは、中期終了時の見直しにおいて検討します。

[コンセプト]

[基本戦略]

[プロジェクト]

[前期]  
(2020~23年)

[中期]  
(2024~26年)

[後期]  
(2027~29年)

花巻  
12湯  
く湯ったり、感じる「花巻じかん」

1. 滞在の魅力向上

1-1.花巻12湯が連携した滞在型プラン創出プロジェクト

着手可能な取り組みについては順次実施

1-2.花巻の特産品活用プロジェクト

2. 市内外の回遊性の向上

2-1.温泉や市内各観光スポットを快適に移動できる二次交通整備プロジェクト

必要に応じて継続

着手可能な取り組みについては順次実施

2-2.まちあるき観光創出プロジェクト

着手可能な取り組みについては順次実施

2-3.周辺エリアとの連携促進プロジェクト

3. 観光まちづくりの推進

3-1.花と地域資源活用プロジェクト

着手可能な取り組みについては順次実施

3-2.観光による効果の見える化と市民参加促進プロジェクト

4. 観光推進基盤の整備

4-1.外国人旅行者の受入れ環境整備プロジェクト

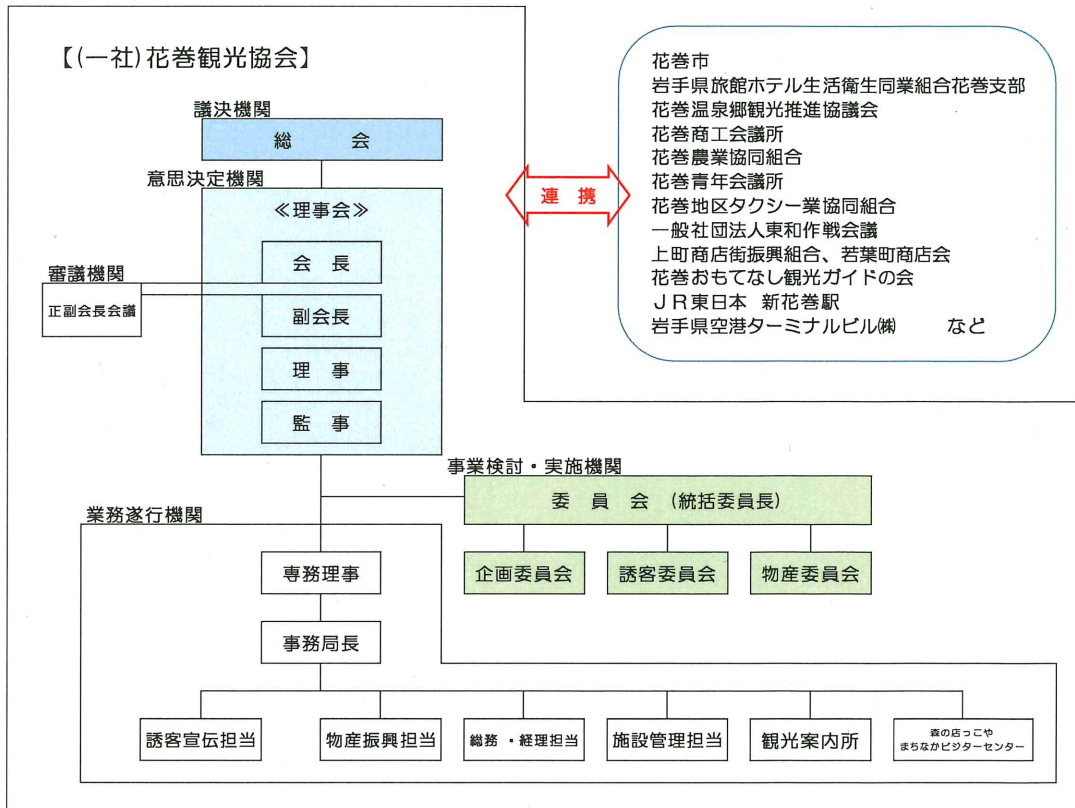
4-2.観光マーケティング・プロモーション推進プロジェクト

(※“推進体制”については第6章にて整理)

# 第6章 ビジョンの推進体制と監視

## 1. ビジョンを推進するための体制

- 本ビジョンは、一般社団法人花巻観光協会が中心となり、花巻市や花巻温泉郷観光推進協議会をはじめ、市内の多様な主体と連携しながら推進していきます。
- 特に、一般社団法人花巻観光協会に設置する委員会(企画委員会、誘客委員会、物産委員会)が、具体的な事業検討や実施の中核を担います。



## 2. ビジョンの監視

- 毎年、一般社団法人花巻観光協会に設置する委員会が中心となり、ビジョンに位置付けられた各プロジェクトの進捗状況を確認しつつ、評価を行います。
- その評価に基づき、次年度事業の方針を決定し、実行していきます。なお、事業実施にかかる財源については、自主事業等による収入確保に努めるほか、花巻市からの補助金・業務受託や国・関係機関の観光支援メニューなどを活用していきます。
- こうしたPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを毎年実施していきます。
- 更に、前期(2020～23年)、中期(2024～26年)、後期(2027～29年)の各期の最終年には、期間中の取り組みの振り返りや次期に実施する重点プロジェクトの検討等の見直しを行います。